

様式 C-71-1 (記入例)

令和4(2022)年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)  
(研究成果公開促進費)「研究成果公开发表(B)(ひらめき☆ときめきサイエンス～  
ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI)」  
補助事業廃止承認申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(研究成果公開促進費)「研究成果公开发表(B)(ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI)」について、下記のとおり補助事業を廃止したいのでご承認くださるようお願いいたします。

記

所属 研究 機関	名称	〇〇大学
	機関の長 職・氏名	学長 〇〇 〇〇
実施代表者	部局	〇〇学部
	職	教授
	氏名	〇〇 〇〇

1. 課題番号 22HT〇〇〇〇

2. プログラム名 〇〇〇〇

3. 交付決定額 500,000 (円)

4. 補助金の使用状況 (円)

受領額	500,000	…①
支出済額	400,000	…②
未使用額(返還金額)	100,000	…③ (①-②)

5. 補助事業廃止の発生日及びその理由

発生日	令和4年〇月〇日
理由	(具体的に記入してください。) 〇〇〇の事情により、当該補助事業の廃止を申請することとしたので承認願います。

様式 C-71-1 (作成上の注意)

1. この様式は、交付決定後に補助事業を廃止しようとする場合に、所属する研究機関を通じて日本学術振興会へ提出するものです。
2. 「課題番号」「交付決定額」欄には、交付決定通知書に記載の課題番号、交付決定額を記入してください。
3. 「プログラム名」欄には、交付申請書に記載の名称を記入してください。
4. 補助金の使用状況  
補助金の使用状況の金額については、所属する研究機関に確認した上で入力してください。
  - (1) 受領額  
受領している金額を記入してください。
  - (2) 支出済額  
本様式の提出時の支出済額（利子を除く。）を記入してください。
  - (3) 未使用額（返還金額）  
日本学術振興会への返還額を記入してください。

<利子（預貯金利息）の考え方>

- ※ 利子（預貯金利息）や解約利息が生じた場合は、補助条件に定められているとおり機関に譲渡すること。
- ※ 発生した利息を補助事業に使用した場合でも、申請書の「既受領額」や「支出済額」には含めないこと。

5. 「補助事業廃止の発生年月日及びその理由」欄には、補助事業を廃止する具体的理由とその発生年月日を記入してください。

<本様式提出後の手続きについて>

- ・ 本様式提出後、日本学術振興会の承認を得るとともに、未使用の補助金を返還し、廃止の時までの補助事業について、廃止の承認を得た後、61日以内に、様式C-72-1「実績報告書（プログラム実施報告書）」及び様式C-72-2「実績報告書（収支決算報告書）」を作成・提出すること。